

概 要 公 表

区分	概 要	原 因	改善・対応策
レ ベ ル 3	胃管(経管栄養チューブ)挿入が困難であったため、硬性を保つためにワイヤーを使用したところ胃穿孔となった。	取扱説明書にワイヤーを使用して挿入することは禁忌・禁止事項とされていたが、院内での認識がなく、周知されていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・挿入困難時は硬性を保つことのできる胃管を使用する。 ・上記対応をしても挿入困難なときは専門医にコンサルトする。 ・医療材料等の使用は取扱説明書の記載事項を厳守する。